

小規模多機能型居宅介護 サービス評価

【様式集】

◆自己評価

スタッフ個別評価・・・・・・・・・・（ス-①～⑨）

事業所自己評価・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

◆外部評価

外部評価（地域かかわりシート①）・・・・（地①-1～3）

外部評価（地域かかわりシート②）・・・・（地②-1～6）

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年 10月 22日 (18:00~19:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 近藤・富田・松田・村田・山口・福島・吉田
山本・岡崎・瀧山・石丸

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	6人	1人	0人	11人

前回の改善計画
・積極的な関わりからご利用者のニーズを引き出し、不安なく過ごしていただけるよう職員間での情報共有や意識統一を図る。
前回の改善計画に対する取組み結果
・職員一人一人が積極的に細やかな声掛けや関わりをもち、ご利用者のニーズを引き出す取り組みができた。 ・ご家族と関わる職員が限られており、またお会いする機会が少ないため、ご家族の不安やご心配な点を聞き出すタイミングに限りがあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	7	0	1	11
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	8	0	1	11
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	2	8	0	1	11
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	5	1	3	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・面談や担会にて情報収集を行い、ご利用者・ご家族の意向に添う支援を心掛けている。 ・新規のご利用者と性格が合う方を同席になるような工夫や、会話の橋渡しになるよう関わっている。 ・まだ慣れていないご利用者にはこまめに声掛けをしている。 ・訪問・通所ご利用中に会話を通じて望まれていることやニーズがあれば職員間で情報共有し次の支援に繋がられるよう努めている。 ・必要に応じてご家族にメールにて状況を報告している。 ・あいさつや声掛け、お話を聞くことで不安が少しでもなくなるよう努めている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・早急にご利用開始の方に関しては情報不足な場合がある。 ・送迎等でご家族とお会いする機会が少なく、お会いしてもお話を聞くばかりでこちらからアプローチをとりようとする意識が乏しく、不安ごとの引き出しができていない。 ・初めの関わりはなるべく声掛けは努めているが、日々の業務によってはゆっくりと時間が取れず単発的な関わりとなっている。 ・特に配慮が必要なご家族とのやり取りは、事業所としての信頼関係の観点から管理者任せになっていて関わりが持てていない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	・初期支援では、ご本人・ご家族が不安なく安心してご利用できるよう、訪問・通所・送迎等、随時事業所側からの働きかけを行い、日々の様子を把握するよう職員一人一人が努める

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年10月22日(18:00~19:00)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 近藤・富田・松田・村田・山口・福島・吉田・山本・岡崎・瀧山・石丸

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2人	5人	3人	1人	11人

前回の改善計画	ご本人の「目標」を理解し実現に向けての情報収集に努め、職員間で共有し、達成に向けて多角的なアプローチを図る。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none">・目標達成のために実施したケアについて、職員間で分析し、更なるケアを立案し改善に向けた取り組みを行えた。・介護の必要性の多いご利用者の支援があると、他のご利用者との関わりが乏しくなり、「～したい」に向けたアプローチを図る時間がもてない日もあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	3	4	3	1	11
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	2	6	2	1	11
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	3	4	3	1	11
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	10	0	1	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・目標達成をするよう計画し実施している。・ミーティングや朝礼にて実施したケアについて報告し、より良いケアになるよう発信している。・会話や関わりの中でご利用者の望まれていることを引き出し、カンファレンスを通じて職員間で共有し提供している。・訪問時、変化や気づきがあれば、都度職員間で報告し合い情報を共有している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・ご家族のレスパイトの目的の場合、ご利用者が負担になるような場面があり、ご家族とご本人の意向が合わず達成できていない。・介助の多いご利用者と関わる事が多く、他のご利用者の関わりを持つ時間が少なく寄り添うケアが全てのご利用者にてできていない。・基本情報やファイル等からの情報収集が日常化して居らず、必要な時に必要な箇所だけ確認して目標についての意識が薄く全てのご利用のゴールの把握ができていない。・ケアプランに目を通してはいるが覚えきれておらず支援内容をこなすだけになっている。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・日々の関わりからご本人の当面の「～したい」を引き出す。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7年 10月 22日 (18:00~19:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 近藤・富田・松田・村田・山口・福島・吉田・山本・岡崎・瀧山・石丸

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	4人	2人	2人	11人

前回の改善計画	・日々の関わりから以前の暮らしの情報・ご本人の意志を引き出し「新しいニーズ」や「今必要なケア」を理解し実践を目指す。
前回の改善計画に対する取組み結果	・日々の関わりからご本人の今の意思の引き出しを行い、「今必要とするケア」を行う事ができた。 ・日々の業務に追われ、ご利用者の以前の暮らしを聞き出す意識が持てずまた、時間の確保ができなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	4	5	2	11
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	4	4	1	2	11
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	3	6	1	1	11
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	6	4	0	1	11
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	4	6	0	1	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ご本人やご家族・施設等から以前の暮らしを聞き出すように努めている。 ・ご本人の状況に合わせその都度、身体介護や日常生活支援を行う様に心掛けている。 ・日々のご本人の発語や様子に変化がみられた場合、職員間で共有するようにしている。 ・ご利用者の会話の中で、ご本人の情報を収集するようにしている。また、知り得た情報は都度、職員間で共有し必要に応じた対応を心掛けている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・介護拒否の強いご利用者や発語が少ないご利用者に関しては、ご本人のお気持ちが汲み取れず支援できていない時がある。 ・対応が難しいご利用者に対してコミュニケーションが十分にされておらず、今必要なケアが把握できない事がある。 ・1日1日の関わりに重点を置き、以前の暮らしに関する情報を深く知る事なく満足していたため、全員の以前の暮らしの把握ができていない。 ・事業所に勤務したばかりで、ご利用者の情報を把握しきれていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・ご利用者の日々の変化に気づき、その方の状況に合った支援を実施する。 ・会話を通じてご利用者の以前の暮らし方を1つでも聞き出す。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7年 10月 22日 (18:00~19:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 近藤・富田・松田・村田・山口・福島・吉田・山本・岡崎・瀧山・石丸

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	3人	4人	4人	11人

前回の改善計画
・地域資源の情報収集をすると共に、地域資源への知識・理解を深め、その方に必要なサービスへと繋げる。

前回の改善計画に対する取組み結果
・地域資源を知る意識が乏しく、知ろうとすることができなかった。
・主に独居の方に限られるが変化があった場合、市役所等に相談を行いました、民生委員に報告する事ができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	7	2	2	11
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	6	2	3	11
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	7	3	1	11
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	2	0	2	7	11

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ご本人の以前の生活スタイルや人間関係に関しては、ご本人やご家族から情報収集するよう努めている。
・ご家族に状況報告や写真付きの手紙を定期的に郵送している。
・変化があった場合、民生委員や関係者に報告している。
・訪問や送迎時に通所での様子をお伝えしている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・介護拒否や発語の少ないご利用者に関しては、地域での関わりがご本人はできていない。
・認知症で独居の方からは、訪問・通所以外の時間のご本人の過ごし方を聞き出せず把握できていない。
・民生委員と直接関わることがないため、把握する事ができていない。
・民生委員との関わりは主に管理者やケアマネジャーがしており、任せっきりになっている。
・地域資源について深く知ろうとしていなかったため把握できていない。
・事業所に勤務したばかりで情報収集の不足により把握できていない。同じ地域の方に関しては把握できているが他の地域の方に関しては把握できていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
・その方の地域の暮らしで心配事や不安な事をご本人(ご家族)から聞き出す。
・地域資源の情報を会議等で共有し、理解を深める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7年 10月 22日 (18:00~19:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 近藤・富田・松田・村田・山口・福島・吉田・山本・岡崎・瀧山・石丸

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	8人	2人	1人	11人

前回の改善計画
・小規模多機能型居宅介護の特性を理解し、必要に応じた即時対応と幅広い技術の習得を目指す。

前回の改善計画に対する取組み結果
・小規模多機能型居宅介護の特性を活かして、その方のニーズに応じて必要な「通い・訪問・泊まり」の支援に繋ぐ事ができた。
・訪問に対応できる職員が限られており、全職員が柔軟に対応できていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	6	0	5	11
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	4	3	0	4	11
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	4	5	0	2	11
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	4	5	1	1	11

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・即時的・柔軟に支援するよう職員間で報告・共有できている。
・事業所で対応が難しい場合は、市役所、包括に相談している。
・傾聴ボランティアの受け入れをしている。
・ご利用者が普段と違うことが発生した場合は、職員間で報・連・相に努めそれに合わせた対応ができていると思う。
・必要の応じた対応(通所・訪問・泊り)ができている。
・その日、その時の状況に合わせた支援・対応ができている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・インフォーマルサービスの活用が難しくできていない。
・地域資源の活用に関しては管理者やケアマネジャーが対応しているため、直接関わっていないためできていない。また、自分自身、知識不足で把握できていない。
・職員の知識・技量によって対応できる職員とできない職員がいるため、全職員が柔軟な対応ができないこともある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
・ご利用者の状況の変化やご家族からのご要望があった場合、検討し可能な限り柔軟に対応する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7年 10月 22日 (18:00~19:00)

6. 連携・協働

メンバー 近藤・富田・松田・村田・山口・福島・吉田・山本・岡崎・瀧山・石丸

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	3人	1人	8人	11人

前回の改善計画	・サービス担当者会議や地域包括センターへの会議の議事録を全員が読み解くことで、他サービス機関への理解を深める。
前回の改善計画に対する取組み結果	・サービス機関の会議等は限られた職員が参加するが、議事録等を回覧する事で職員間に周知する事ができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	2	1	0	8	11
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	2	1	1	7	11
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	0	5	0	6	11
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	2	1	1	7	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・包括や市役所の会議の見学(zoom)に参加している。 ・市役所や包括主催の研修に参加している。 ・法人で地域行事のお手伝いをしている。 ・運営推進会議に地域の自治会やコミュニティの方に出席していただいている。 ・会議が開催される度、会議の申し送り等で添付された書類に目を通して理解・把握するよう努めている。 ・担当者会議や運営推進会議等の議事録は全職員が回覧できるようになっており、必要な情報を得ている。 ・運営推進会議に職員が交代で参加している。 ・地域の中学校の職場体験の受け入れをしている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・日々の業務から、ご利用者が地域に出向く取り組みができていない。 ・自身が自治会の会議に参加する事がなく、知識が不十分・把握できていない。 ・地域住民が訪れるようなイベント(活動)ができていないため事業所に地域の方が訪れる事が少ない。 ・各会議には管理者やケアマネジャーが出席されるため、参加する機会が少なくできていない。 ・感染症の観点からイベントが少なくまた、業務の中での参加が難しくできていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・回覧を通じて参加していない会議の議事録に目を通し、理解を深める。 ・自治会や地域のイベントへの参加は可能な限り、交代で参加していく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7年 10月 22日 (8:00~19:00)

7. 運営

メンバー 近藤・富田・松田・村田・山口・福島・吉田・山本・岡崎・瀧山・石丸

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	5人	1人	5人	11人

前回の改善計画	・地域に根付く働きかけとして地域行事への積極的な参加を実施し、地域を知り、事業所を知ってもらうことで関係性を深める。
前回の改善計画に対する取組み結果	・運営推進会議にて、地域からの意見や要望を聞き出す事ができた。 ・地域と協働した取り組みは少ないが、限られた中で参加する事ができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	3	6	0	2	11
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	6	1	1	11
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	3	1	5	11
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	0	5	0	6	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・運営推進会議などで、地域の方からご意見をいただいた場合、改善するよう努めている。 ・ご利用者やご家族から意見や苦情があった場合、職員間で話し合い、即時に解決改善するよう努めている。 ・地域の草刈りをはじめ、ご近所との取り組みには積極的に参加している。 ・地域からの苦情は法人で共有し、事業所として周知し、改善に試みている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・業務が多忙のため、地域と協働した取り組みができていない。 ・事業所発信の取り組みはなく、地域からのイベントの発信のみの参加・協働で数が限られている。 ・業務の日に地域のイベントが行われる場合、参加できる人数の確保ができず参加できていない。 ・地域のイベントも減っており参加できていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ・引き続き運営推進会議では交代で職員も参加し、地域からの意見を反映、運営に繋げる。 ・職員一人一人がカンファレンスで一つでも意見を出すよう努める。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7年 10月 22日 (18:00~19:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 近藤・富田・松田・村田・山口・福島・吉田・山本・岡崎・瀧山・石丸

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6人	4人	0人	1人	11人

前回の改善計画	・定期的に研修実施で、チームとしての質・技術の向上を図ると共に、個人のリスクを共有し、チームとしてのリスクマネジメントとして、安心・安全な支援の提供を目指す。
前回の改善計画に対する取組み結果	・研修には意欲的に参加する事ができた。 ・ヒヤリハットや事故報告書を通して、職員間で共有しリスクマネジメントに努める事ができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	8	2	0	1	11
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	6	2	2	1	11
③	地域連絡会に参加していますか	0	2	1	8	11
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	5	3	1	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・市など外部の研修や、定期的に法人内で研修を行い参加している。 ・自身のスキルアップのため積極的に研修に参加している。 ・小さなことでもヒヤリハットにて事業所で検討し改善に努めている。 ・介護事故に関しては職員間で検討・対策を揚げ改善に繋げてリスクマネジメントに努めている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域連合会に参加する機会が少なく参加できていない。 ・業務多忙もあり、外部の研修に参加できる事が少ない。 ・職員の意識付けがどれだけできているのか確認できておらず、個人の意識の持ちように任せているため、チームとしての知識・技術の底上げができていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・事業所研修に参加し、質の向上を図る。 ・小さなヒヤリハットでも活用することで、リスクマネジメントを図る。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7年 10月 22日 (18:00~19:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 近藤・富田・松田・村田・山口・福島・吉田・山本・岡崎・瀧山・石丸

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	6人	5人	0人	0人	11人

前回の改善計画	・細やかな配慮の元、職員同士の声の掛けあい等で、より安心・安全なケアを目指す。
前回の改善計画に対する取組み結果	・安心安全なケアのために職員同士の声の掛け合いを行う事ができたが、他の対応等で危険意識が欠けている場面もあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 身体拘束をしていない	10	1	0	0	11
② 虐待は行われていない	10	1	0	0	11
③ プライバシーが守られている	6	5	0	0	11
④ 必要な方に成年後見制度を活用している	2	2	3	4	11
⑤ 適正な個人情報の管理ができている	3	7	1	0	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・虐待や身体拘束防止の廃止の委員会を定期的に開催し職員に周知した上で、業務に取り組んでいる。 ・研修などで、尊厳を守ると意識を常に持つよう定期的実施している。 ・必要な方に関して、市・包括に成年後見制度の相談をしている。 ・職員間でご利用者の事を話す際、ご利用者の氏名を大きな声で言わないように配慮している。 ・身体介助(入浴・トイレ)等では、配慮した細やかな策を行えていると思う。 ・個人情報の取扱いに注意して、書類等は鍵のかかる棚に保管できている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・職員都合の介護にならないよう努めているが、急な対応が入った場合、ご利用者の意向に添えない事が発生できない事がある。 ・その都度、職員が個別に対応している場面がありホールのご利用者の見守り不足、危険意識が欠けていることもみられる。 ・実際の業務の中で、細やかな配慮となると、具体的にどのような事なのか分からない場合があり、全職員が細やかな配慮ができているわけではない。 ・業務日誌を記入中に、ご利用者が席を立たれた為、ご利用者の近くに業務日誌を置いたままにしてしまった事がある。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・委員会や研修を通して人権・プライバシーに関して理解を深める。 ・職場内でご利用者様の報告や相談をする際、大きな声で話さないよう配慮する。 	

外部評価 地域かかわりシート② (結果まとめ様式)

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	6		
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の 2/3 以上の参加が望ましい	5	1	
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取組みが行われていましたか？	5	1	
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	6		

【上記4つのチェック項目に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見

- ・それぞれの評価に対して、スタッフ全員が真剣に取り組む評価し具体的に行動できている。
- ・できている点、できていない点、それぞれの意見が多く出ており、従業員の方が熱心に取り組んでいると感じました。全体として組織全体が高い意識をもち、より良い環境づくりに向けて真剣に考えている様子が伝わってきました。
- ・完全とは言い難いが、それぞれが取り組んでいる姿勢が感じられる。
- ・毎月1回の会議も全員参加で、事業所の取組みに対しても積極的に行っている。全員、輪をもって連携も取られ日常的に評価は高い。
- ・よく取り組まれている。職員全員の参加が伺える。

【前回の改善計画に対して意見】

- ・細やかなカンファレンスにてお互いの思いを知り、尊重し合える環境作りやチームケアの構築を図る。(前回の改善計画)
- ・※前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見
- ・計画に対して確実な成果がでている。欠けていた部分や達成できなかった事もきちんと理解できているので、次回に生かせると思う。
- ・1-9の各テーマに対する取組状況が、テーマによって評価の偏りがあると感じました。苦手意識のあるテーマでは、取組みが十分に浸透していない印象を受けました。今後は弱い部分を重点的に強化することで、さらにレベルアップを図っていけると思います。
- ・非常に難しい判断である。個人それぞれの認識に差があり難しい。
- ・訪問担当者は限られているが、チームの構成上優れているので情報の共有は取れていると思われる。
- ・できた点、出来なかった点がよく分かっていてよいのではないかな。

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見

- ・アセスメントがしっかりできているので、達成可能な計画になっている。
- ・全体的には具体的な計画となっており、とても良いと思います。2, 「～したい」の実現に関する改善計画については、テーマとほぼ同じ内容になっているため、もう少し具体的な取組内容や方法を盛り込むとより実効性のある計画になるのではないのでしょうか。
- ・それぞれの意見があり、大小に差はあるものの改善はされている。
- ・地域での暮らしの支援については、自己評価が低い「できていない点」での分析は行えているので今後期待できる。
- ・細かく話合われている。抽象的ではなく具体的な改善計画になっている。

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

- ・地域での資源の情報では、包括で提供できることがあればいつでも協力したい。
- ・自己評価は、日々の支援を見直しサービスの質を高める大切な機会です。職員間で課題を共有し改善することで、利用者が安心して過ごせる事業所づくりに繋がると思います。
- ・率直な意見を聞きたい。
- ・ほとんどできていない職員がいることに問い合わせにて、小規模多機能型居宅介護未経験者の存在があった。今後は学習し、足並みを揃える事を期待したい。

【改善計画】※後日記入

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	6		
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	5		1
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	6		
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	6		
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	5		1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・ 事業所はいつも良い雰囲気です。
- ・ 運営推進会議などで事業所を訪問した際の様子で判断すると、上記の1～5の項目については問題ないと考えられます。
- ・ 0～3は良く検討され、室内の雰囲気は明るく良好である。季節に合わせてご利用者と作品作りの飾りつけ等、愛情を感じさせる。4, については認知症の方もいらっしゃる離設の危険もあり、一部施錠する日もあるがそれ以外は開錠していることが多い。
- ・ よく検討されている。

【前回の改善計画】

- ・ ご利用者の生活スタイルを知り、その方にとって過ごしやすい環境作りに努める。
- ・ 季節のイベント・壁面作りを継続することで、ご利用者の生活のハリに繋げる。
- ・ 施設内の生活でも、季節感のある工夫がされている。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

- ・ 運営推進会議の際に施設内見学をさせていただけると、評価しやすい。
- ・ 事業所のしつらえや環境は、利用者が安心して過ごせる空間づくりの基盤であると思います。家庭的で温かみのあり、心地よく過ごせる環境を整えることが大切だと考えます。
- ・ 与えられたスペースを上手に工夫し、物品の配置も考えられている。
- ・ 職員側の立場でいえば建物や部屋の位置などは変えられない。与えられた建物、今あるものをどう見せるかが大切だと思う。

【今回の改善計画】 ※後日記入

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5		1
1	職員はあいさつできていますか？	6		
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	5		1
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	4		2
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	5		1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・職員の方々は皆さん気持ちの良い接遇で、相談しやすい場所になっている。
- ・前回の改善計画の職場体験の受け入れの実績はどのくらいでしょうか。地域行事への参加に関しては、事業所自己評価において、できている点、できていない点のどちらにも意見があったため、職員の方の捉え方にも差があるように感じました。
- ・地域との繋がりはよく出来ている。
- ・あいさつについては全職員とても気持ちの良い礼儀正しい関わりである。
- ・あいさつは出来ていると思う。

【前回の改善計画】

- ・引き続き中学生の職場体験の受け入れを実施する。
- ・地域行事に参加することで地域との繋がりを継続していく。
- ・地域等の関わりは、準備等大変ですが継続していることは素晴らしいことだと思う。
- ・今後もぜひ実行して欲しい。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

- ・こもればさんは地域住民の方々からよく名前がでていて浸透している。
- ・事業所の存在やサービス内容を地域に広く知ってもらうことで、利用者が住み慣れた地域で多様な支援を受けながら、安心して生活を続けられる場としての役割を果たせると思います。
- ・今後も期待したい。
- ・管理者が地域行事に率先して参加している。他の職員は可能な限り参加している。
- ・自治会行事にはその準備や片付けに職員が参加出来ている。

【改善計画】 ※後日記入

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5		1
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	6		
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	4		2
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	2	1	3
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	3	1	2

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・運営推進会議では自治会長・民生委員を交えた会議が行えており、また利用者さんが外で参加できるイベントも実施しておられ良いと思う。
- ・地域資源に関しては、事業所自己評価で「あまりできていない」「できていない」と回答が多いことから取組みに課題が残っていると思いました。運営推進会議に地域の方に参加していただくことで、地域との連携が強化され、ニーズや地域の期待に沿った支援が可能になると思います。
- ・更なる改善を期待したい。
- ・夏は涼しい時間、冬は暖かい時間に苑庭に出向き、春は桜、秋はもみじ等自然に囲まれた事業所を満喫していただいている。
- ・NO4に関しては小規模登録者以外で「ご近所の心配な方」に事業所として関わられるのは挨拶程度（声掛け）なら出来ると思われるが、支援となると介護保険が必要になると考える。

【前回の改善計画】

- ・研修等で地域資源を知り、ご利用者に必要となる資源の提供に努める。
- ・民生委員と定期的に交流を図りご利用者の生活を地域で支える取り組みを継続していく。
- ・計画実行ができていると思う。

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

- ・包括が把握している地域資源の提供ができるので声掛けしてください。
- ・地域のニーズや課題を共有し、地域との繋がりを強化する事で、利用者の方や地域の方が安心して暮らせる環境が整うと思います。利用者の方の地域での生活状況をしっかりと情報収集しそれに基づいて支援を行うことで、サービスの質を向上させ地域全体の福祉向上に繋がると考えます。
- ・知り得た情報は職員間で共有しご利用者の生活を支え喜んでいただける様、安全・安心・健全な支援が行えている。
- ・コロナ以降、地域行事等に参加する機会が少なくなりましたが、景色など自然や季節を感じる事ができるよう努めたい。

【改善計画】 ※後日記入

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	6		
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	6		
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	5		1
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	6		
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	6		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・運営推進会議では、写真やデータをもとに効率的な会議ができています。
- ・運営推進会議では、事業所の取組みが良く伝えられていると思います。また、課題についても真摯に向き合っていると感じています。ご利用者やご家族が参加する機会があると、より充実したものになると思われます。
- ・地域行事への積極的な参加を行いました、会議へ参加していただくことで双方にとって良い関係が保たれている。ゆえに貴重な意見をいただいている。

【前回の改善計画】

- ・運営推進会議の事例を基に課題を挙げ、地域からの意見から更なる改善に繋げる。
- ・ご家族や他職員の参加に努める。
- ・改善計画に沿って実施できている。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

- ・運営推進会議の構成員に対し、提供するサービス内容等を明らかにすることより、地域に開かれたサービスをすることで、サービスの質の確保を図るため、運営推進会議を活用し、地域との連携を深めていただければと思います。
- ・事業所の意見・評価の方がどちらかといえば重点を置いていると思える日が多いので、地域の方の要望ももっと伝えていただきたい。
- ・運営推進会議では管理として必ず出席し、貴重なご意見を頂いている。ご家族が参加するにはハードルが高いように感じる。

【改善計画】 ※後日記入

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5		1
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	4	1	1
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	1		5
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	2	4	
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	6		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・ 職員の防災意識は高まっており、災害時の対応方法についても理解ができていると思う。
- ・ 法人全体で考えると多くの利用者がいらっしゃるため、継続的に訓練を実施し、緊急時に迅速かつ適切に対応できる体制に整えていただければと思います。
- ・ 災害時こそ事業所は頼りにならなければならないと思う。また職員も心優しい人達なので期待できると感じている。

【前回の改善計画】

- ・ 防災訓練で職員の防災意識・知識向上に努める。
- ・ 自然災害を想定した避難訓練を継続していく。
- ・ ご利用者と防災訓練を行い改善計画に取り組んでいる。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

- ・ 地域での防災訓練に貢献することにより、利用者の方だけではなく、地域の方々も安心して提供できると思います。
- ・ 小規模は同敷地内のグループホームこもれび城ヶ丘の職員と合同で定期的に消防署と連携し行っている。BCPにおいても情報共有しながら実施している。
- ・ この周南地区は地震や津波はそこまで思われないが土砂や風水害の備えが必要と考える。

【改善計画】 ※後日記入

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	(有)エポックワン	代表者	大西益男	法人・事業所の特徴	<法人>こもれびの杜グループは、日々感謝の気持ちを持ち、ご利用者様の尊厳を守り命の担い手となり安心、安全、健全な運営の実現を目指します。 <事業所>利用者様のご希望や思いをしっかりと聞き取り、個人に合わせたサービスを提供させて頂いております。また、押し付けのプログラム等は無く、ゆっくりお過ごし頂く中で自立支援を行います。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 こもれび ダンディクラブ	管理者	近藤加奈		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	3人	人	人	1人	2人	2人	人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・細やかなカンファレンスにてお互いの思いを知り、尊重できる環境作りやチームケアの構築を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の中でケアに対する意見をその都度話し合い、ケアの改善に繋げる取り組みを行った。 ・自己評価の確認として、すべての職員が外回りを対応しておらず、評価に差が生じてしまうことを課題と感じた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・月1度の会議も全員参加で、事業所の取り組みに対しても積極的に行っている。全員が輪をもって連携も取られ日常的に評価は高い。 ・よく取り組まれている。職員全員の参加が伺える。 ・訪問担当者は限られているが、チームの構成上優れているので情報の共有は取れていると感じる。 ・自己評価に関しては若干苦手意識のあるテーマでは取り組みが十分に浸透していないように印象を受けました。今後は弱い部分を重点的に強化する事でさらにレベルアップを図っていけると思います。 ・具体的な取組内容や方法を盛り込むとより実効性のある計画になるのではないかと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各テーマの自己評価改善計画については「取り組み方法・目標」を文書にて明確に記載する。また、書面を掲示することで職員の意識向上を図る。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者の生活スタイルを知り、その方にとって過ごしやすい環境作りに努める。 ・季節のイベント・壁面作りを継続することで、ご利用者の生活のハリに繋げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・季節に応じた壁面などをご利用者様と一緒に作成し季節を感じていただける取り組みを実施した。 ・ご利用者の状況に合わせた席の配置を配置するなど過ごしやすい環境作りを行った。 ・換気・掃除・消毒で感染対策の取組を継続した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者はいつも良い雰囲気活気に満ちている。 ・室内は明るく良好である。 ・季節に合わせてご利用者と作品作りの飾りつけ等され、愛情を感じさせる。 ・施設内の生活でも、季節感のある工夫がされている。 ・事業所のしつらえや環境は、ご利用者が安心して過ごせる空間づくりの基盤であると思います。家庭的で温かみのあり、心地よく過ごせる環境を整える事が大切だと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者の状況の変化に応じて過ごしやすい環境を整える。 ・季節を感じるレクリエーション活動を継続しご利用者の認知機能の改善の一つとすると共に生活のハリに繋げる。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き中学生の職場体験の受け入れを実施する。 ・地域行事に参加することで地域との繋がりを継続していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の中学生の職場体験の受け入れを実施した。 ・地域のイベントの準備や片付け・地区の清掃など法人全体で参加を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員さんは皆さん気持ちの良い接遇で、相談しやすい場所になっている。 ・地域との繋がりはよく出来ている。 ・あいさつについては全職員とても気持ちの良く礼儀正しい関わりである。 ・こもれびさんは地域住民の方々からよく名前がでていて浸透している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き中学生の職場体験の受け入れ実施する。 ・地域行事の情報収集を行い可能な限り職員が交代で参加する。

		<ul style="list-style-type: none"> ・介護相談員の受け入れを行い月に一度事業所に訪問して頂けた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の存在やサービス内容を地域に広く知ってもらうことで、ご利用者が住み慣れた地域で多様な支援を受けながら、安心して生活が続けられる場としての役割が果たせると思います。 	
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・研修等で地域資源を知りご利用者に必要となる資源の提供に努める。 ・民生委員と定期的に交流を図り、ご本人の生活を地域で支える取り組みを継続していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の地域資源に関する意識が乏しいと感じた。 ・限られた資源ではあるがその方に必要な地域資源を利用する事ができた。 ・ご利用者の住まれている地域行事の情報収集に関しては不足していると感じた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源に関しては、自己評価で「あまりできていない」「できていない」と回答が多いことから取り組みに課題が残っていると思いました。運営推進会議で地域の方に参加していただくことで、地域の連携が強化され、ニーズや地域の期待に沿った支援が可能になると思います。 ・地域のニーズや課題を共有し、地域との繋がりを強化する事で、利用者の方や地域の方が安心して暮らせる環境が整うと思います。利用者の方の地域での生活状況をしっかりと情報収集しそれに基づいて支援を行うことで、サービスの質を向上させ地域全体の福祉向上に繋がると考えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者の住まわれている地区の地域行事の情報収集に努める。 ・買い物同行の支援など、ご利用者と地域との繋がりが保たれるよう努める。
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議で、事例を基に課題を挙げ、地域からの意見から更なる改善へと繋げる。 ・ご家族や他の職員の参加に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議では様々な貴重なご意見やアドバイスを頂くことができた。 ・地域や行政の取り組みなどの状況を知ることができた。 ・職員が交代で会議に出席する事ができたが、ご家族やご利用者の参加は出来なかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議では、写真やデータを基に効率的な会議が行えている。 ・運営推進会議では、事業所の取り組みが良く伝えられていると思います。また、課題についても真摯に向き合っていると感じます。ご利用者やご家族が参加する機会があるとより、充実したものになると思われまます。 ・改善計画に沿って実施できている。 ・地域行事への積極的な参加を行いました、会議に参加いただくことで双方にとって良い関係が保たれている。ゆえに貴重な意見をいただいている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議で運営報告や課題を挙げ、地域からのご意見を運営に反映していく。 ・ご家族やご利用者の参加の促しを行う。 ・職員が交代で会議に参加する。 ・事業所の避難訓練の参加していただきご意見を頂く。
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練では、地域の方の参加を計画し実施する。 ・自然災害を想定した避難訓練を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方を避難訓練に参加していただけの取り組みが行えなかった。 ・地震を想定した避難訓練を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の防災意識は高まっており、災害時の対応方法についても理解ができていると思う。 ・法人全体で考えると多くの利用者がいらっしやるため、継続的な訓練を実施し、緊急時に迅速に対応できる体制を整えていただけたいと思います。災害時こそ事業所は頼りにならなければならないと思う。また、職員も優しい人隊なので期待できると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方に事業所の避難訓練に参加していただきご意見を頂く。 ・引き続き避難訓練を実施し職員の防災意識の向上を図る。

